

出展が483社に増、会場を4ホールに拡大

1998 (平成10)年11月4日～6日

国際展示場「東京ビッグサイト」(有明)

- 福祉機器市場拡大への期待もあり、大手企業や異業種から参入する出展社が国内外で113社にのぼり、**全体では483社と過去最高**になり、4ホールに広げ、約1万坪を確保。出展数は、新製品を含め22,000点を超え、また海外企業も定着し、国内に代理店を持つ企業が全体の7割となった
- 出展社を対象にはじめての「福祉機器業界の市場推計・経営状況分析」基礎調査を行い、その動向に関連するデータを企業や関係機関などに提供した
- **国際シンポジウム「日米シンポジウム／質の高い介護をどのように提供するか」を開催。**利用者がサービスを選択するための評価事業の導入が検討されていたが、これに先駆けて介護の質を高めていく方策を考察した



[第25回 ポスター]

主催 全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会
 特別協賛 日本自転車振興会
 来場者数 126,162人
 出展社数 483社：海外13か国104社、国内379社
 ◆東展示場 3、4、5、6ホール



- ▶ 1998年 社会福祉基礎構造改革 (中間まとめ) 中社審分科会公表
- ▶ 法律上の「精神薄弱者」が「知的障害」に改められる

日米シンポジウム

質の高い介護をどのように提供するか

アメリカの施設評価の現状と課題

アメリカのジョイント・コミッションによる医療の評価システムを採用上げた。**JCI、ジョイント・コミッションとは、「Joint Commission International」**の略で、医療の安全性と質を改善することをミッションとし、認定サービスやコンサルティング、教育、出版などのサービスを提供する非営利・非行政の組織であり、本部はシカゴ、1999年にブラジルの病院を第一号として始まり、当時、世界39か国で300の医療機関がJCIの認定を受けている情報を提供した



ポール・R・ヴァンオステンバーグ氏(米国)

ポール・R・ヴァンオステンバーグ氏
 米国ジョイント・コミッション・インターナショナル国際認定部門
 ディレクター

チューター

笠原政幸氏
 米国アボット・ノースウェスタン病院老年病専門医



笠原政幸氏

始まった日本の病院の医療評価

介護保険導入を目前にし、日本では措置から契約への福祉制度の転換期にさしかかっており、利用者が介護・福祉サービスを選択するための第三者評価事業の導入が検討されていて、これに先駆けて、病院看護の質を高めていく方策の考察をねらいに開催した

大道久氏
 日本大学医学部教授、日本医療機能評価機構理事

チューター

石神重信氏
 防衛医科大学校リハビリテーション部助教授



大道久氏



石神重信氏